水平積みで安全施工！
裏コン・型枠不要！
施工が簡単・早い！

NETIS ・KK-080003-VE

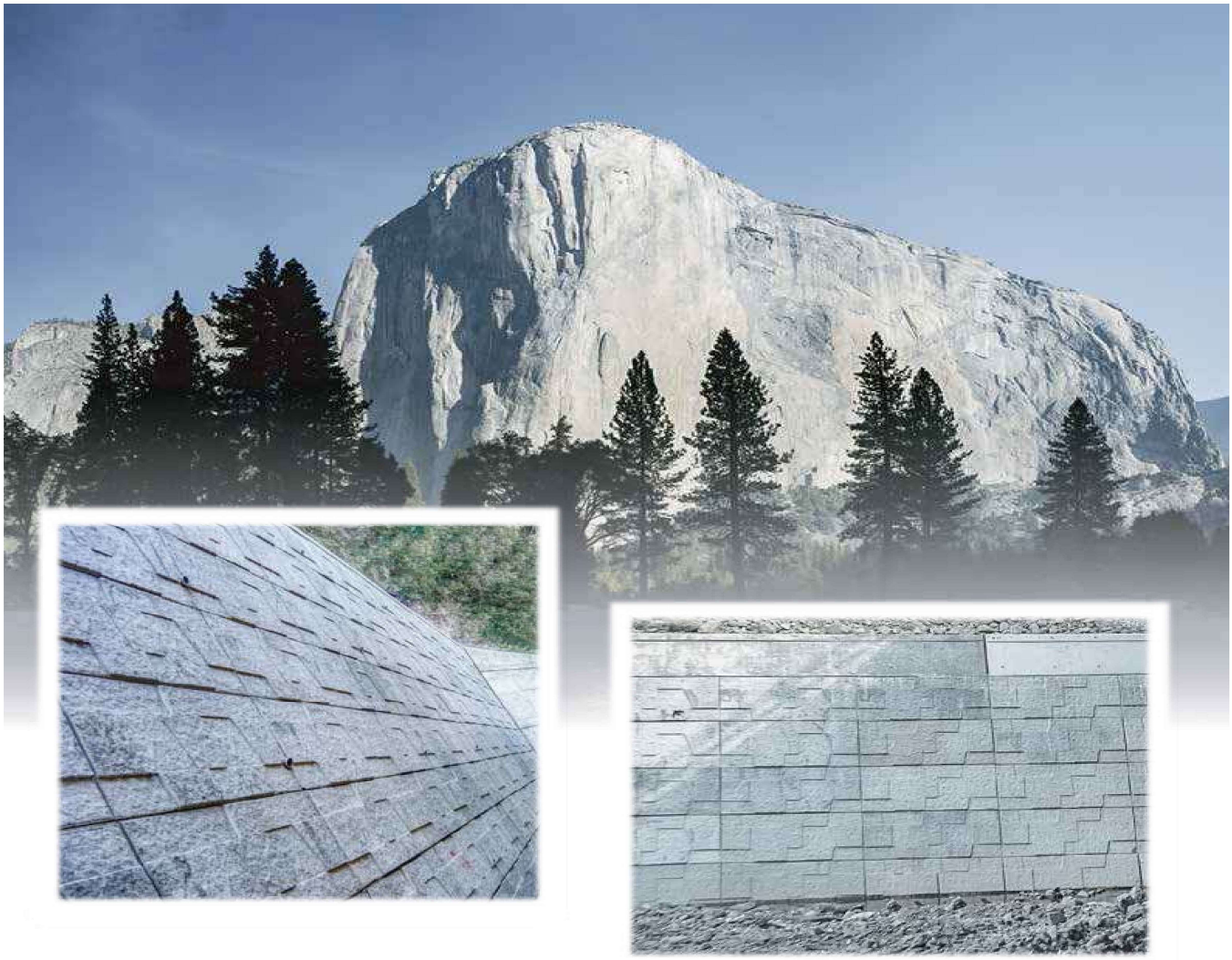
明度証明取得商品

テクスチャー証明取得商品

宅造大臣認定基準適合商品

レベロック

（水平自立積大型ブロック）



地域の豊かな暮らしを願い
みなさまのお足元の安全を支えています

工藤コンクリート株式会社

施工性に優れた、レベロック（水平ブロック）です。
自立式の大型化した積みブロックで、表面は自然と調和する
石模様です。

レベロック 5分勾配35型 水平自立写真

レベロック（水平ブロック） 5つの特長

NETIS•KK-080003-VE
国土交通省 新技術情報提供システム

1．優れた構造安定性
ブロック練り積み擁壁としての壁体重量、一体性、コンクリート強度等は標準設計と同等以上となっており、一般的な積ブロックと同様の使用が可能です。

2．施工が簡単、安全、早い
ブロックはすべてのサイズ、すべての勾配で水平自立する為、熟練工でなくても、誰でも簡単に、安全に、短期間に施工できます。

3．優れた経済性
製品のサイズが1㎡/個と大型なため、重機施工となり積みスピードが大幅にアップします。さらに、裏コン対応用のブロックを使用することで裏型枠・裏コン作業が不要となりさらなる低コストの施工が可能となります。

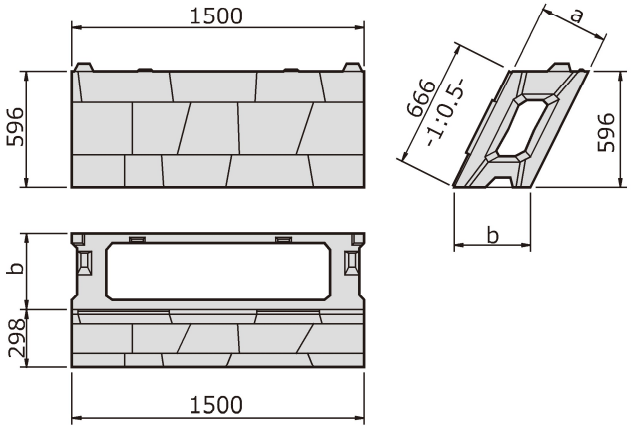
4．宅地造成工事に使用可能
この製品は宅地造成規制法、第15条に関する国交省告示（第1485号）に定められたコンクリートブロック練積み擁壁に関する各号の基準をすべてクリアしており、大臣認定擁壁ブロック同等品として宅地造成工事に使用可能です。

5．あらゆる環境にマッチ
ブロック表面の模様は自然景観にもよくなじむ石模様です。

レベロック(水平ブロック)

5分勾配用

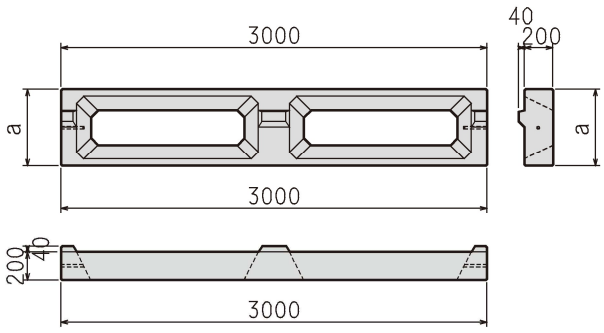
Aタイプ(666×1500)



規格	a	b	標準重量
35型	350	391	435kg
50型	500	559	475kg

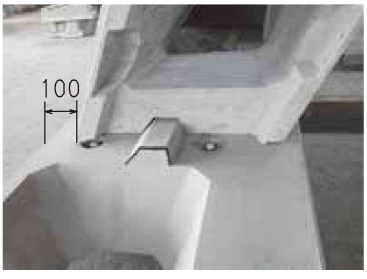
※半切製品(Bタイプ(666×750) Cタイプ(333×1500))も製造可能です。

基礎ブロック



※L=1,500㎜も製造可能です。

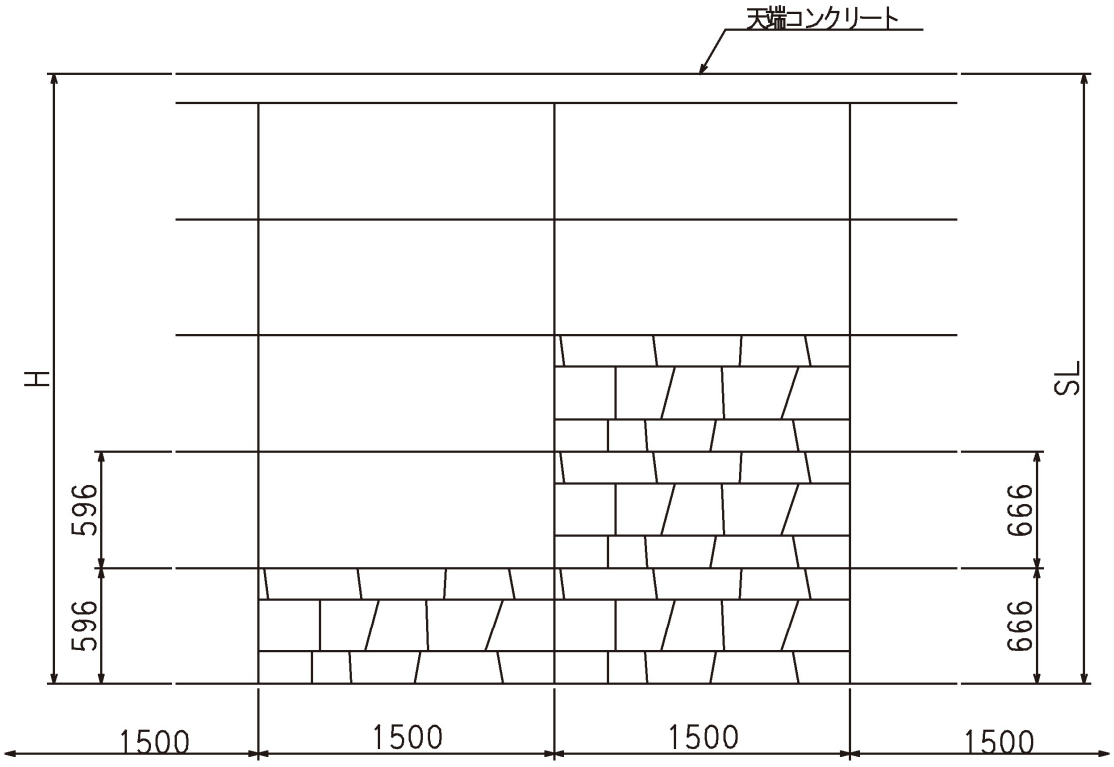
規格	a	標準重量
35型	550	365kg
50型	710	585kg



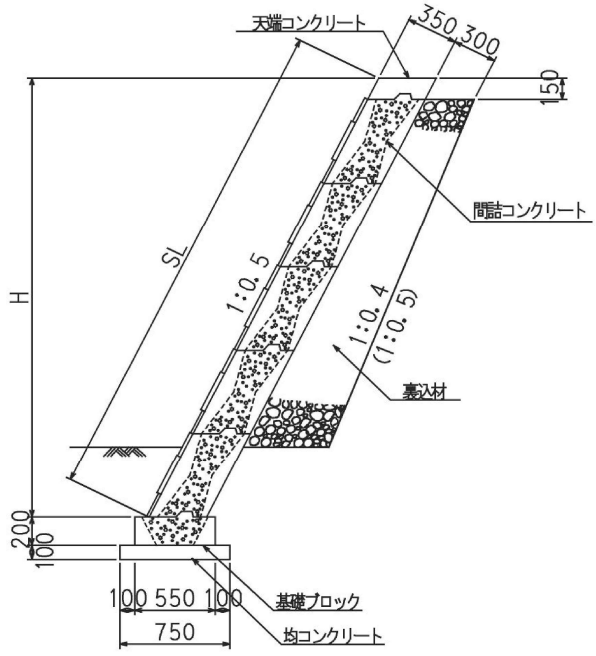
基礎ブロック

※基礎ブロック上段の突起の斜面が緩やかな方がブロック前面になります。

展開図



断面図



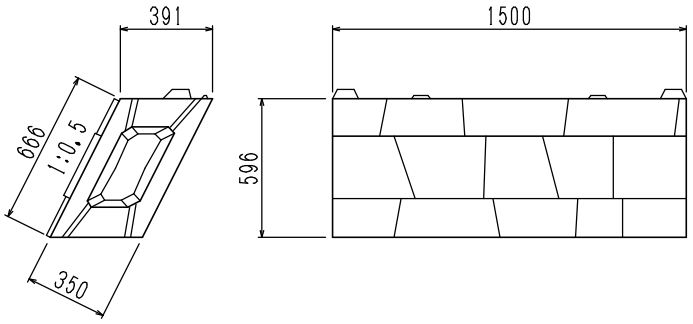
※現場打基礎等や状況に応じて、
ズレ止筋(D16×400 etc750)を
使用します。

↑ レベロック天端に
独立型防護柵基礎「プレガード」を使用

レベロック（水平ブロック） 35型

Ａタイプ

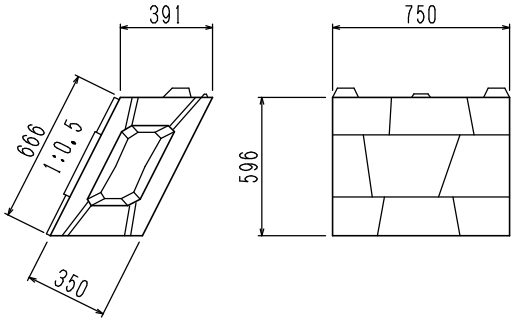
666×1500



参考質量(kg)	間詰体積(m³)
435	0.178

Ｂタイプ

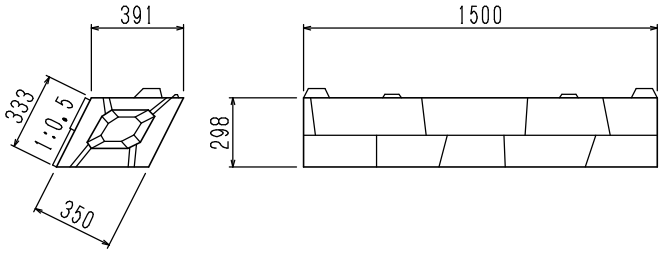
666×750



参考質量(kg)	間詰体積(m³)
255	0.072

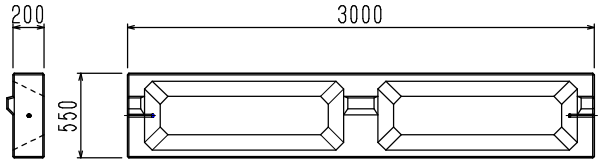
Ｃタイプ

333×1500

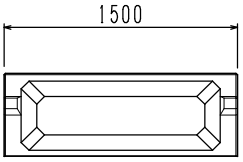


参考質量(kg)	間詰体積(m³)
205	0.094

基礎ブロック



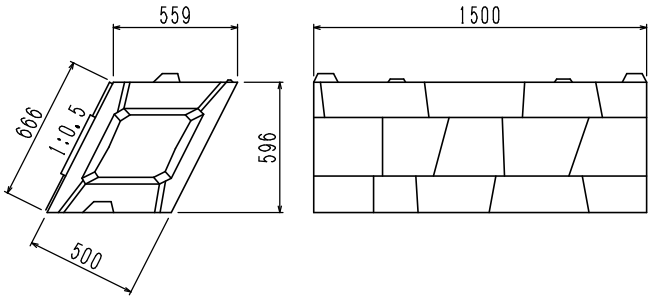
参考質量(kg)	間詰体積(m³)
365	0.167



参考質量(kg)	間詰体積(m³)
180	0.084

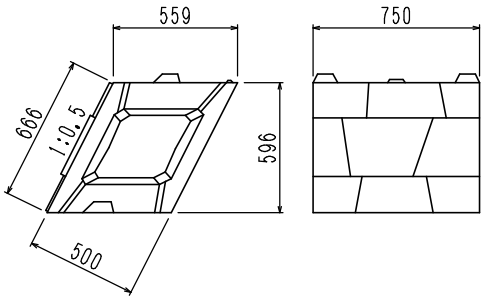
レベロック（水平ブロック） 50型

Ａタイプ
666×1500



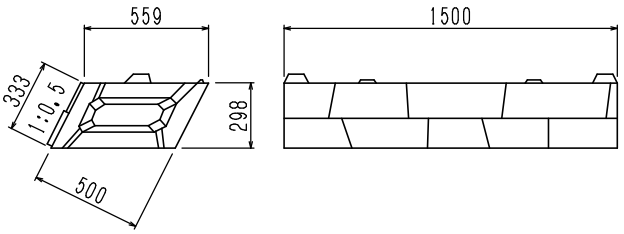
参考質量(kg)	間詰体積(m³)
475	0.310

Ｂタイプ
666×750



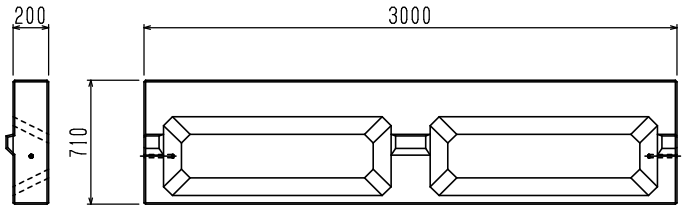
参考質量(kg)	間詰体積(m³)
290	0.132

Ｃタイプ
333×1500

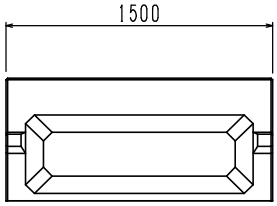


参考質量(kg)	間詰体積(m³)
255	0.147

基礎ブロック



参考質量(kg)	間詰体積(m³)
585	0.167



参考質量(kg)	間詰体積(m³)
290	0.084

新技術概要説明情報

「概要」「従来技術との比較」等のタブをクリックすることでそれぞれの内容を閲覧することができます。関連する情報がある場合は画面の上部にあるリンクをクリックすることができます。

更新履歴

ものづくり日本大賞	国土技術開発賞	建設技術審査証明※		他機関の評価結果

2015.03.05現在

ページ印刷用表示 一括印刷用表示

技術名称	水平ブロック	事後評価済み技術（2013.05.13）	登録No.	KK-080003-V

事前審査	事後評価		技術の位置付け（有用な新技術）			
	試行実証評価	活用効果評価	推奨技術	準推奨技術	評価促進技術	活用促進技術
		有				

旧実施要領における技術の位置付け			
活用促進技術(旧)	設計比較対象技術	少実績優良技術	
	★（2013.5.13～）		

活用効果調査入力様式	適用期間等
-V 活用効果調査入力システムを使用してください。	平成25年5月13日～

上記※印の情報と以下の情報は申請者の申請に基づき掲載しております。申請情報の最終更新年月日：2013.05.13

概要 | 従来技術との比較 | 特許・審査証明 | 単価・施工方法 | 問合せ先・その他 | 詳細説明資料

活用の効果				
比較する従来技術	コンクリートブロック積み			
項　目	活用の効果			比較の根拠
経済性	☑向上（2.12 %）	□同程度	□低下（ %）	従来工法の施工規模100m2未満における加算率により向上する。
工　程	☑短縮（19.05 %）	□同程度	□増加（ %）	ブロック面積が大きいため日当たり施工量が増加するので工程が短縮できる。
品　質	□向上	☑同程度	□低下	
安全性	□向上	□同程度	☑低下	
施工性	☑向上	□同程度	□低下	適用範囲は低下するが施工管理負担が軽減でき、熟練工依存度も低くなるので施工性が向上する。
周辺環境への影響	□向上	☑同程度	□低下	
その他、技術のｱﾋﾟｰﾙﾎﾟｲﾝﾄ等	水平ブロックはクレーン作業を前提に開発された1個/㎡の大型擬石化粧ブロックである。平行四辺形の断面形状の工夫や断面寸法の拡大で、裏込めコンクリートが不要で積重ね時の安定性も確保されており、作業効率の向上による各種の波及効果が期待できる。			
コストタイプ コストタイプの種類	発散型：C(＋)型			

活用効果の根拠			
基準とする数量	42	単位	m2

	新技術	従来技術	向上の程度
経済性	797562.31円	814824.91円	2.12%
工程	17日	21日	19.05%

新技術の内訳

様式Ｖ－5

活用効果評価結果

通　　知　　用

平成30年度

中国地方整備局 ／ 新技術活用評価会議

NETIS情報						
開発目標	経済性の向上、安全性の向上、作業環境の向上					
新技術登録番号	KK-080003-VE	区分	製品	有用な技術の位置づけ	活用促進技術	
分類	共通工 － 擁壁工 － 石・ブロック積(張)工 － コンクリートブロック工					
新技術名	水平ブロック (副題：自立式の水平積みによる大型ブロック積み)					
比較する従来技術(従来工法)	コンクリートブロック積み					
新技術の概要及び特徴	自立式の水平積大型コンクリートブロックで、1個の法面積が1㎡と広く、裏込めコンクリートエを必要としないので施工性、経済性が向上する。また、断面形状が平行四辺形で重心位置が底面内に存在し、転倒しにくい構造で安全性にも配慮した大型擬石化粧ブロックである。					

活用効果評価	
所見	〔経済性〕 ・本技術の経済性については、工期が短縮できるため、従来技術に対して優れる。 〔工程〕 ・本技術の工程については、ブロックが大型化したこと、および裏込めコンクリートが省略できるため、従来技術に対して優れる。 〔品質・出来形〕 ・本技術の品質・出来形については、従来技術に対して同等である。 〔安全性〕 ・本技術の安全性については、ブロックを水平に据え付けることができるため、安定性が良く、従来技術に対して優れる。 〔施工性〕 ・本技術の施工性については、専門工への依存度が減少するため、従来技術に対して優れる。 〔環境〕 ・本技術の環境については、従来技術に対して同等である。
次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	・評価結果は安定している。また、従来技術も妥当と判断できるため継続調査は実施しない。よって、次回以降の評価は不要とし、情報識別記号を「-VE」とする。
留意事項	・水抜きを設置する位置(製品の薄肉箇所)が決まっている。 ・水抜き孔を斫る際、周辺が欠けやすい。 ・ブロックのかみ合わせに余裕がないため微調整が難しい。
当該技術における改良点及び要望	・水抜き用専用ブロックの製作

項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較

参考

参考 活用効果調査結果

対象工事

1	堤防嵩上げ工事	従来技術：コンクリートブロック積み	施工者希望型(契約後提案)
2	道路舗装工事	従来技術：コンクリートブロック積み	施工者希望型(契約後提案)
3	道路IC改良工事	従来技術：コンクリートブロック積み	施工者希望型(契約後提案)
4	貯砂ダム工事	従来技術：コンクリートブロック積み	施工者希望型(契約後提案)
5	砂防堰堤工事	従来技術：コンクリートブロック積み	施工者希望型(契約後提案)
6	歩道改良工事	従来技術：コンクリートブロック積み	施工者希望型(契約後提案)
7	歩道改良工事	従来技術：コンクリートブロック積み	施工者希望型(契約前提案)
8	道路整備工事	従来技術：コンクリートブロック積み	施工者希望型(契約後提案)
9	漢流保全工事	従来技術：コンクリートブロック積み	施工者希望型(契約後提案)
10	橋梁耐震補強工事	従来技術：コンクリートブロック積み	施工者希望型(契約後提案)

項目＼ケース番号および年度		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)
		H25	H26	H27	H27	H28	H28	H28	H28	H28	H29		
施工時評価	経済性	B	B	B	C	C	C	B	C	C	A	B	C
	工程	C	B	A	B	B	B	B	B	A	A	B	C
	品質・出来形	C	B	B	C	C	B	C	B	C	B	C	C
	安全性	C	B	B	B	C	C	A	C	B	B	B	C
	施工性	B	B	A	B	B	B	A	B	A	A	B	C
	環境	C	C	C	C	C	C	B	C	C	B	C	C
	その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
総合評価点		C	B	B	B	C	B	B	C	B	B	B	C

今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後も是非活用したい	活用を検討したい	場合によっては活用することもある	技術の改良を強く望む
	10%　[1件/ 10件]	60%　[6件/ 10件]	30%　[3件/ 10件]	0%　[0件/ 10件]

優位性における判定	
A	極めて優れる
B	優れる
C	従来技術と同等
D	従来技術より劣る

追跡調査の必要性	不要	備考	
追跡調査	なし		

施工写真

施工写真

施工要領

●レベロック（水平ブロック）●

10㎡当り

名　　称	形状寸法 規　格			全数量	単位	備　考
レ ベ ロ ッ ク				10.000	個	
間詰コンクリート	5分	A35	18N-8-25	1.775	m^3	
		A45		2.622		
		A50		3.100		
		A55		3.425		
	4分	A35		1.732		
		A45		2.535		
		A50		2.991		
	3分	A35		1.710		

●基礎ブロック●

10㎡当り

名　　称	形状寸法 規　格		全数量	単位	備　考
基 礎 ブ ロ ッ ク			3.333	個	
間詰コンクリート	A35/A45/A50/A55	18N-8-25	0.557(0.167)	m^3	

※1. （ ）内は製品1個あたりの数量です。
※2. 必要に応じて3㎡に一ヶ所、水抜きブロックを使用

施工要領

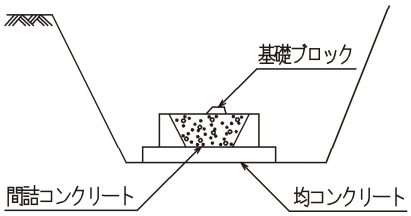
1．基礎ブロックの布設
均しコンクリートを設置した後、所定の位置に基礎ブロックを布設し、間詰コンクリートを天端まで打設します。

2．１段目のブロック布設
ブロックを布設した後、ブロックの裏側から良質土、又は裏込材で埋戻し、間詰コンクリートをブロックの半分程度まで打設します。

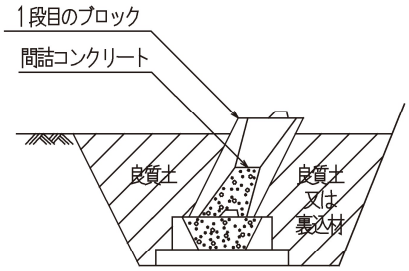
3．２段目以降のブロック布設
ブロックを布設した後、裏込材を充填し、間詰コンクリートをブロックの半分程度まで打設します。（必要に応じて水抜きパイプを設置）

4．天端コンクリート
天端コンクリートを施工して完了です。

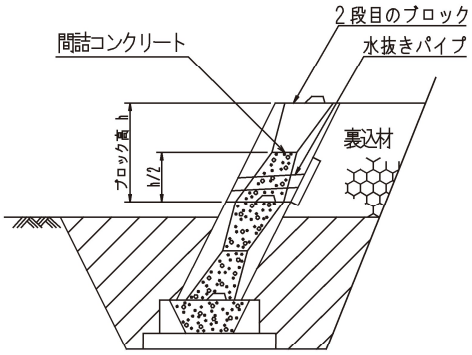
①



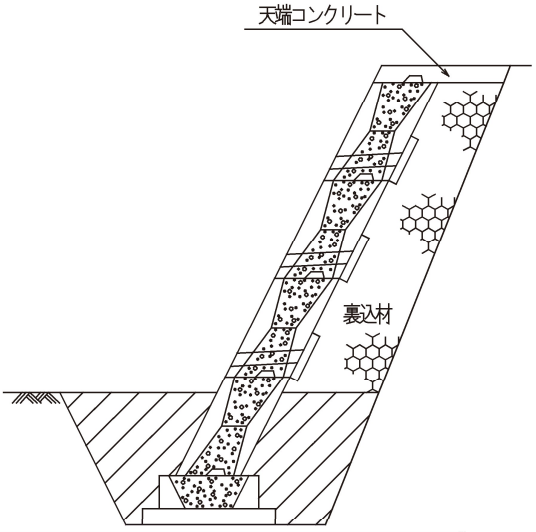
②



③



④



保管・取扱いに関する注意事項

●製品本来の目的・仕様以外でご使用になると危険ですので十分注意してください。
●作業時には関係者以外の人が現場に立ち入らないように十分注意してください。
●リフト及びクレーンでの製品の移動時は荷崩れしないよう、静かに移動してください。
●施工治具（吊りワイヤー、金具等）は使用前に十分に点検を行ってください。
●施工治具の製品への取り付けは確実に行ってください。
●重量物ですので、据え付け吊り込み中は、製品の下に入らないでください。
●現場での作業時には、適切な保護具（ヘルメット、手袋、安全靴）をご使用ください。

カタログご利用にあたってのお願い

●このカタログに掲載の製品は、平成３０年３月現在のものです。
●このカタログは、当社取り扱い製品の主要事項を掲載したものです。
詳しい説明、使用図面等さらに詳しい資料を必要とされる場合には、担当者までお申し付けください。
●掲載製品の中で、一部取り扱いできない地区・地域があります。
●掲載製品の規格寸法につきましては、成型寸法となっておりますので表面加工により実寸法とは異なる場合があります。
●単体図・展開図・断面図は参考例ですので、ご使用にあたっては設置場所、設置条件を考慮してください。
●製品質量は参考値のため、仕様材料（セメント・骨材等）により、若干の変動があります。
●カタログ以外の製品、および特注品についても、設計・製作いたします。担当者までお申し付けください。
●掲載製品の色につきましては、印刷の関係上、実物とは多少異なる場合があります。

プレキャスト製品で迅速施工！

水平積みで安全施工！

隔壁用ブロック

カークヘキ

地域の豊かな暮らしを願い
みなさまのお足元の安全を支えています

工藤コンクリート株式会社

カークヘキ　4つの特長

1．胴込コンクリート型
この製品はブロック内の胴込コンクリートと上下段のかみ合わせにより、壁体が一体化されることで連結金具は必要ありません。そのため、ブロック積の施工の後先に関係なくこの製品を積み上げることができます。

2．上・下かみ合わせ型
製品の上・下にかみ合わせの突起があるため、製品を傾けて布設することができ、現場のいろいろな勾配に合わせて施工することが可能です。

3．背面穴付型の使用可能
背面穴付型の製品を使用すれば、地山とカークヘキの間の間詰コンクリートが一体化されます。（P1　下部写真　参照）

4．連結型タイプ（5分勾配のみ）
ブロックの控長が大きな場合は、連結型タイプの製品を使用して対応することができます。（裏表紙　参照）

5．表面化粧型（明度証明・テクスチャー証明取得製品）
製品の表面は自然景観によく馴染む擬石模様です。

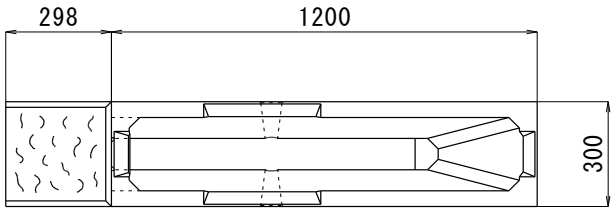
※カークヘキは、全て受注生産になります。

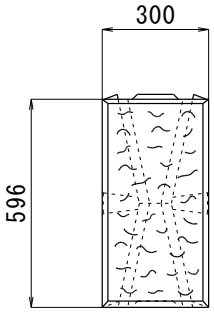
カークヘキ（化粧型）

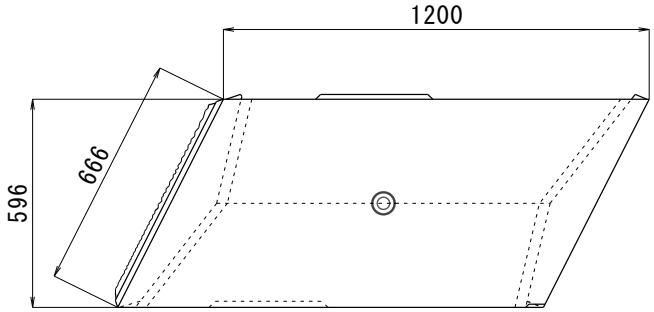
施工写真

背面穴付型使用

コード		番 号		ファイル		初版	年 月	改版	年 月	廃棄	年 月

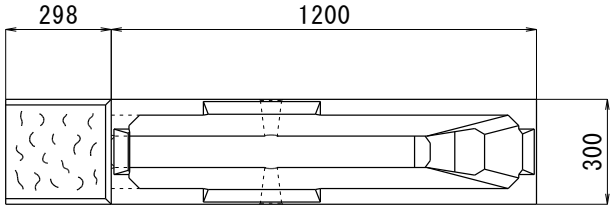


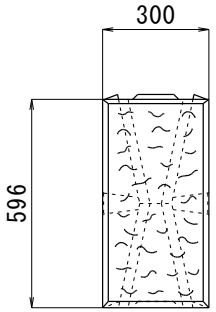


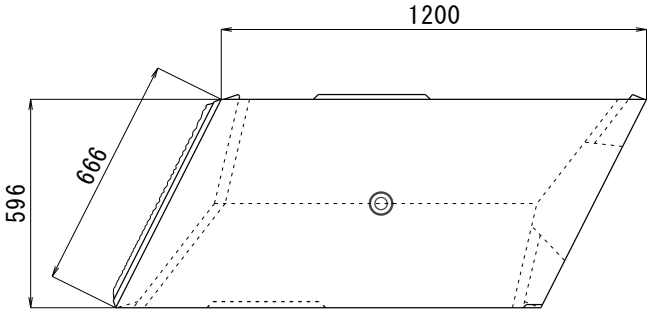


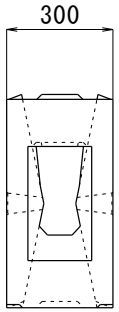
名 称	カークヘキ（化粧型） ５分１２００型		
区 分	製品図	参考重量	290kgf
縮 尺	1/20	設計基準強度	σck=30 N/mm²
工藤コンクリート株式会社			

コード		番 号		ファイル		初版	年 月	改版	年 月	廃棄	年 月









名　称	カークヘキ（化粧型） ５分１２００型（後抜）		
区　分	製 品 図	参考重量	285kgf
縮　尺	1/20	設計基準強度	σck=30 N/mm²
工藤コンクリート株式会社			